
夜見廻り

並盛りライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夜見廻り

【Nコード】

N3413B

【作者名】

並盛りライス

【あらすじ】

アノヨとコノヨの狭間を流れる川。その上を廻り続ける一漕の舟。けれど、いつまでも此処に滞まっているわけにはいかない。

私は舟を漕いでいる。流れは一方通行で、一つの場所に滞まっていない。

スピードは遅すぎることもなく、かといって速すぎることもない。一定の速度を守ってはいるが、流れの速さは不規則でもある。

まだ先は見えないので、川岸から川岸にというよりは、川上から川下に向かっているようだ。

いつから舟を漕いでいるのか、また、何故舟を漕いでいるのかは知らない。

舟を漕いでいると意識した時には、すでに舟を漕いでいた。どこかに辿り着くためというよりも、どこにも辿り着かないように舟を漕いでいるのかもしれない。

途中、何度も舟を降らないかと、通りがかりの人間に声をかけられたが、私が返事をする前に、どこか遠くに行ってしまった。

私は何かを決めるのが、人よりも遅いなのかもしれない。

あるいは、この舟を降りた先には素晴らしい景色が広がっているのかもしれない。

それでも私は、その一步を踏み出すことができずにいた。

ここは退屈だが、静かで心地よく、なにより舟を漕ぐことを止めた自分が、田を耕したり、魚を採ったりすることが想像できなかった。

全ては、推測でしかない。　　かもしれないと、夢想し、恐れ、

私は舟を漕ぐ。

私は何も知らない、知りたくない、私の脳は拒絶する。

私は誰。誰かだった私。私のはずの誰か。

「何を迷っているの?」「え?」

「新しい肉体は既に産まれているのに、君は何をぐずぐずしてるのさ?」

「怖いんだ……すごく」

「ふーん」

「君は誰？」

「それを聞いても意味はないと思うよ。ボクは誰か、君が誰だったか……」

「……知りたくない」

「それも君の自由だ」

「ずっと、ここに居ては駄目なの？」

「それでも良い。けれど、新しく産まれた命は、二度と目を覚まさない」

「……」

「今すぐ決める必要はないさ。君はずっと迷い続けたんだ。これからも、迷い続けるの？」

「それは……」

「なんならボクが、君の肉体を貰ってやろうか？ いい考えたと思うんだけど」

「いやだ」

私は、水面に映った自分の顔を指で弾いた。

「それならもう……答えは決まっているんだろう」

私は、新しく産まれ変わる。今度は、いつまで生きれるだろうか。そんなに長くはないだろう。たぶん、いつかまた、此処に戻ってくるんだろうという予感がした。

心地好いこの場所を離れて、私はあの、騒がしい世界へと帰る。

舟は流れていく。私を乗せずに流れていく。私がこの二本の足で歩き始めるのは、もう少し、先になるかもしれない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3413b/>

夜見廻り

2010年10月21日23時23分発行